

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY NEWS

AGU News



AGUニュース第64号 [2012年11月~12月号]

2012
No. 64 青山学院大学
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
URL: <http://www.aoyama.ac.jp>

特集 今年もキャンパスに音楽の響く季節がやってきます

フェスタムジカ・アオヤマ Festa-Musica AOYAMA

青学生が最も輝く3日間「青山祭」今年のテーマは「青嵐前線」

みんなで応援に行こう! 青山スポーツ

TOPICS ボランティア・ステーション活動報告
青山キャンパス整備事業 進行状況
文部科学省の教育改革支援事業に選定

誌上公開講座 Aogaku Lecture⑦
音楽史B ークラシック音楽の歴史II
(古典派・ロマン派・20世紀の音楽)ー

INFORMATION 2012年度 給付奨学金・学業奨励賞
進路・就職センター／進路グループの利用案内
青山学院大学後援会報告
世界を読み解くコラム AGUインサイト



相模原キャンパス・相模原祭

青山祭

青学生が最も輝く3日間
心を揺さぶる「青山祭」が始まります

銀杏並木が色づきはじめる11月2日(金)~4日(日)、「青山祭」が開催されます。企画・運営のすべてを学生が手がけるこの一大イベントにかける思いを、準備も最終段階に入った実行委員会の委員長・白石君と企画担当・山本君にうかがいました。



2012年度のテーマは「青嵐前線」。「青嵐」とは、若葉を揺らす初夏の風を意味します。青学生という若者を揺さぶりたい、僕たち実行委員会が起点となって、その風を起こしたいと思い、このテーマを掲げました。開催期間は3日間ですが、一日一日の中身を濃くするために委員会全員、総力をあげて取り組んでいます。

また、これまで青山祭で力を入れてきたエコ活動として、今年はオリジナルのエコバッグ販売も決定。イベントを楽しみながらぜひ使っていただきたいと思います。

恒例の講演会には映画監督や音楽プロデューサー、アーティストなど各界で活躍されている5名の著名人をお招きします。もちろん、伝統行事でもある青学正門から神宮通公園までの「ちょうちん行列」も実施。最終日には、出店・教室・ステージなど約300の参加団体の中で、No.1を来場者の投票で決定する予定です。青学生がいちばん輝ける3日間であるよう努めますので、ぜひ足をお運びください。

青山祭実行委員会 委員長
白石 啓児君
法学部 法学科3年



青山祭・2012年度テーマ 「青嵐前線」

日時
11月2日(金) 14:00~18:00
11月3日(土・祝) 9:00~18:00
11月4日(日) 9:00~17:00

*詳しくは青山祭の公式ウェブサイトをご覧ください。
<http://aoyamasai.com/>



2012年度の目玉企画のひとつが、中庭のステージで行うファッションショーです。4年目になる今回は「1×tem~私×何か」と題し、参加団体ごとに1ファッションアイテムを限定し、それをまとった自由な着こなしと思いのパフォーマンスをランウェイで披露します。青学生の活気と個性を見せられる、「魅せる企画」になるはず。参加者自身も、見る人も楽しめるよう盛り上げていきますのでご期待ください。

青山祭実行委員会 企画局 ステージ企画担当
山本 直人君
文学部 日本文学科2年



特集 今年もキャンパスに音楽の響く季節がやってきます Festa-Musica AOYAMA

秋から冬にかけて、音楽を愛する学生たちがさまざまな演奏会を開催します。毎週のように演奏会が開催されるこの季節、キャンパスはあたかも音楽祭のように賑わいをみせています。本番に向けて表現力に磨きをかけている皆さんの強い意気込みを紹介します。



丸高 久実さん
経済学部 経済学科3年

数ある音楽団体の先陣を切って開催した、箏・尺八・三味線の編成による定期演奏会へのご来場ありがとうございました。50回目という大きな節目を迎え、メンバーの意気込みはいつも以上に強かったように思います。OB・OGの方々との共演も実現し、「ぜひ大作を披露しよう」と20分もある曲をラストに演奏し、和楽器の魅力を教えてくださいました。奥行きを感じさせる深い音色に親しみを感じてくださったなら、とても嬉しいです。

箏尺八研究会 節目の年にふさわしい演奏で達成感を得られました

「第50回定期演奏会」
日時:10月14日(日) 場所:ガウチャー記念礼拝堂



青山フォークウェイズ(A.F.W) 多彩な音楽ジャンルの共演にご注目ください

A.F.Wの特徴は、ジャンルにとらわれない音楽活動にあります。約80名のメンバーのなかで、イベントごとにユニットを編成していくので、趣向の違う音楽好きが刺激あって音楽の幅を広げていけるのが、一番の魅力かもしれません。青山祭の3日間は、ポップス、ロック、メタル、ジャズからブルースまで、いろいろなジャンルの演奏がありますので、たくさんの人に楽しんでもらえるはず。ご来場をお待ちしています。



高畑 友章君
国際政治経済学部 国際政治学科3年

「青山祭ライブ」
日時:11月2日(金)~11月4日(日)
場所:RUIDO.K2(東京・渋谷)



立原 寿亮君
教育人間科学部
教育学科3年

青山学院管弦楽団 (オーケストラ部)

「第101回定期演奏会」
日時:11月18日(日) 14:00開演(13:15開場)
場所:東京オペラシティコンサートホール
入場料:1,500円(全席指定)
チケットぴあ TEL.0570-02-9999
(Pコード 180-691)にて販売しています。

5月に歴史ある管弦楽団の集大成として第100回定期演奏会を開催し、その後はドイツ演奏旅行を実施するなど、2012年は多くの活動機会を得た濃密な一年間でした。そして今、新たな時代の第一歩として、第101回定期演奏会に向けての準備を整えています。充実した練習環境など、芸術を重んじる青学ならではのサポートや、プロの指揮者とのご縁に感謝し、音楽で恩返しをしたい。必ず成功させようと全力で取り組み、これまで以上に強く結束しています。

これまでの感謝を込めて、力強くリスタートします



青学カラーのジャズバンドとプロの共演をお楽しみに!

指揮者がいる必要もなく、自由な空気にあふれているのがジャズの魅力です。私たちはスタンダード・ジャズをしっかり学んだ後に、ロックの要素を取り入れたジャズを展開するという学生バンドではとても珍しい活動を行っています。11月の「青山ジャズ・イニシャティブ」は毎年、すばらしいプロの方々との共演で、かっこいい演奏を間近で見られる好機会なので、私たち自身も楽しみにしています。今回の見どころのひとつは津軽三味線との共演。新たな試みにどうぞご期待ください。

ロイヤル・サウンズ・ジャズ・オーケストラ

「青山ジャズ・イニシャティブ2012」
日時:11月25日(日) 13:00開演(12:30開場)
場所:青山学院講堂
入場無料(全席自由)

林 真理絵さん
教育人間科学部 教育学科3年



特集 今年もキャンパスに音楽の響く季節がやってきます
フェスタムジカ・アオヤマ
Festa-Musica AOYAMA



安島 稔君
教育人間科学部
教育学科3年

今回のステージは、総勢60名での合唱の他、アカペラや小演劇など新しい試みを加えた4部構成になっています。美しいハーモニーが聴く人の心に響くかどうかは、歌う側の気持ちがどれだけ表現できるかにかかっています。まずは自分たちが曲に入り込まないと聴く人にも伝わらないと考え、歌詞の解釈にも十分に時間をかけました。歌い方も試行錯誤し、自己満足で終わらぬよう客観的に練習をチェックして、来る本番に備えています。



「第58回定期演奏会」
日時:12月1日(土) 15:00開演(14:30開場)
場所:昭和女子大学 人見記念講堂 入場料:1,000円
チケット入手方法についてはグリーンハーモニー合唱団ウェブサイトをご覧ください。
グリーンハーモニー合唱団ウェブサイト <http://aoyamagh.web.fc2.com/index.html>

グリーンハーモニー合唱団 新たな試みを続ける僕たちの歌声を聴いてほしい

皆でつなげる美しい音色を、多くの方に届けたい

一人ひとりもつ音を組みあわせてひとつの楽曲を奏でるハンドベルは、音の流れと強弱をいかにまとめるかが難しく、また大きな魅力でもあります。一年間で最も大きなこのコンサートに、昨年は予想をはるかに上回る方々が聴きにきてくださいました。各自が担当する音に責任を感じながらリハーサルを重ねる日々ですが、私たち自身が楽しんで演奏することを心掛けています。礼拝の曲はもちろん、J-POPのクリスマスソングもお楽しみに。

ハンドベル・クワイア

「クリスマス・チャペル・コンサート」
日時:12月1日(土) 18:00開演
場所:ガウチャー記念礼拝堂 入場無料(全席自由)



町田 綾香さん
教育人間科学部
教育学科3年



関 敦彦君
国際政治経済学部 国際政治学科3年

情感あふれる音色のクラシックギターによる“アンサンブル”と、ボーカルなしのエレキギターでのバンド形式をとる“コンボ”、それぞれ違った雰囲気を楽しめる演奏会です。1年生初挑戦の「カノン」や、現役最後の演奏となる3年生の華麗な「花のワルツ」で心を癒し、気合いの入ったコンボのかっこいいサウンドを堪能してください。「やる以上はいい音を」と自らを律して練習してきたからこそ、最高の演奏を披露できると自負しています。

癒しのクラシック&迫力のバンドサウンドに乞うご期待!

ギターアンサンブル

「第52回定期演奏会」
日時:12月1日(土) 17:00開演(16:30開場) 場所:青山学院講堂 入場無料(全席自由)

優しく心地よい音に包まれる時間をご一緒に

ぼってりとした形の小さな弦楽器・マンドリンと、一回り大きなマンドラ、そしてクラシックギターとコントラバスによる演奏で、心地よい音楽をお届けします。きれいでかわいらしい音に似合う穏やかな楽曲や、馴染み深いミュージカル曲を選びました。少人数ながら、この音に惹かれて活動を続けてきた私たちの思いが伝えられるよう頑張ります。単一の高さの弦を小刻みに弾く、マンドリン独特のトレモロ技法にもご注目ください。

リズムマンドリーノ

「第51回定期演奏会」
日時:12月2日(日) 18:30開演(18:00開場)
場所:ガウチャー記念礼拝堂 入場無料(全席自由)



菅原 香奈さん
法学部 法学科4年



福音を旋律に乗せたパワフルな歌声を響かせます



2011年度に立ち上げたばかりの団体なので、まさにこれから自分たちで作っていくんだという思いで日々活動しています。外部のゴスペル・ネットワークとの合同コンサートは、力強い歌声が最大の魅力。大迫力ながらクリスマスらしさを感じられる曲をお届けします。ジャンルを超えたさまざまな曲調に聖書からのメッセージを乗せて、力強く歌い、伝えていきます。クラシックやロックを楽しむように、どうぞ気軽に聴いてください。



瀨本 鴻志君
経済学部 経済学科2年

ゴスペル・クワイア

「ハレルヤ・ゴスペル・ファミリー合同クリスマスコンサート」
日時:12月8日(土) 18:30開演(18:00開場)
場所:青山学院講堂 入場無料(全席自由)

聖歌隊

「クリスマス奉唱会」
日時:12月15日(土) 18:00開演
場所:ガウチャー記念礼拝堂
入場無料(全席自由)

聖歌隊のメンバーはみんな、讃美歌がもつ伝統や荘厳な雰囲気惹かれて集まった人たちです。集まると、ごく自然に歌い出すような良い雰囲気の中で活動を続けています。古来から受け継がれてきた讃美歌にはそれだけの魅力、歴史の重みがあるものです。この奉唱会は、私たちがコンサートを提供するというより、クリスマスを楽しみ、会場にいる人たちみんな喜びを分かち合おうというもので、ぜひ一緒に体感してください。

小林 恵さん
文学部 史学科3年



受け継がれてきた讃美歌の魅力を皆さんと



吹奏楽バトントワリング部 美しい演奏と鮮やかな動きで、五感を刺激します



吹奏楽とバトンという全く異なる活動がひとつになって、誰でも楽しめる企画ステージをご覧いただけます。今年のテーマは「四季彩」。音楽性の追求はもちろん、視覚的にも強く印象づけるものにしたいと、一人ひとりが技を磨いてきました。2012年度は定期演奏会だけでなく企業からの依頼も積極的に受けてきたので、チームの結束力は一段と強くなっています。たくさんの方々にお越しいただき、「青学らしさ」を感じてほしいです。

「第45回定期演奏会」
日時:12月16日(日) 17:00開演(16:30開場)
場所:メルパルクホール(東京・芝公園) 入場無料(全席自由)

須田 泰大君
社会情報学部 社会情報学科4年

曲への理解を深めて私たちのメサイアを表現します

この公演は、イエス・キリストの生涯を描いたヘンデル作曲のオラトリオ「メサイア」を管弦楽団・グリーンハーモニー合唱団・聖歌隊が合同で取り組むもので、聖書の言葉を歌詞にした楽曲のみでストーリーを表現します。個人技を高めるだけでなく、今年は「進化する伝統」というスローガンを掲げ、ヘンデルについての勉強会を開くなど下地を築くことから力を入れてきました。私たちの新しい解釈をお届けします。

岡田 桂さん
法学部 法学科4年



オール青山メサイア公演実行委員会

「第37回 オール青山メサイア公演」
日時:12月23日(日・祝) 17:00開演(16:15開場) 場所:青山学院講堂
入場料:1,500円(全席指定) チケットはあにて販売しています。
当日券もご用意しています。TEL.0570-02-9999(Pコード179-995)

※フェスタムジカとは、「音楽(musica)の祭典(festa)」を意味する造語です。各行事が本名称のもとに実施されるわけではありませんので、ご了承ください。

特集 みんなで応援に行こう!

青山スポーツ

居合道部

今年の目標は、東日本大会の団体4連覇と、全日本大会での団体優勝。大会が刻々と近づくと、稽古にもいっそうの力が入っています。居合道の試合は、技の美しさと大きさ、どれだけ仮想の敵を描いているかで競われます。伝統的な流儀に則った華麗な刀捌き、厳肅な雰囲気の中で伝わる選手の気迫など、実際に演武をご覧いただければ、居合道を知らない方でも十分に魅力を感じてもらえるはずです。ぜひ皆さんの目でお確かめください。



秋の到来とともに、大学スポーツのシーズンが始まっています。青山学院大学では、60以上の運動系団体が、さまざまな大会やイベントで活躍。鍛え抜かれた技と力をライバルと競いあう選手たちに熱い声援をお願いします!



サッカー部

関東大学リーグ1部への復帰を1年で果たすべく、チーム一丸となってリーグ戦に臨んでいます。私たちが大切にしているのは、スローガン「心動」のもとで実現する、観る人と選手が共に心を震わせる試合です。素早くパスを回す青山学院大学らしいサッカーを展開しながら、強い気持ちをもって闘い、皆さんと勝利の喜びと感動を共有したいと思っています。会場での熱い応援をよろしくお願いします。

主要活動予定 2012年11月～2013年1月

- 11月 ▶ **アイススケート部(ホッケー部門)** 関東大学アイスホッケーリーグ戦(12月まで)
- アメリカンフットボール部** 秋期リーグ戦
- 合気道部** 全国学生合気道演武大会
- 居合道部** 全日本学生居合道大会
- 11月18日(日)
 - [会場] 龍谷大学(京都)
 - 東日本学生居合道連盟 <http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/4075/menu.html>
 - 居合道部ウェブサイト <http://www.agu-iai.com/>
- 空手道部** 全日本大学空手道選手権大会
- 剣道部** 関東学生剣道新人戦大会
- 拳法部** 全日本学生拳法個人選手権大会
- 硬式庭球部** 関東大学対抗テニス選手権大会(12月まで)
- サッカー部** 関東大学サッカーリーグ戦
- 第19節 11月3日(土) 13時50分～ vs 桐蔭横浜大学
 - 古河市立古河サッカー場
 - JR古河駅より三高経由栗橋駅行きバスに乗り、赤松町駅下車、徒歩5分
- 第20節 11月11日(日) 13時50分～ vs 亜細亜大学
 - 亜細亜大学日の出グラウンド
 - JR五日市線武蔵引田駅より徒歩10分
- 第21節 11月18日(日) 13時50分～ vs 平成国際大学
 - 青山学院大学緑ヶ丘グラウンド
 - JR淵野辺駅よりバス「和泉短大前」下車、徒歩5分
- 第22節 11月24日(土) 13時50分～ vs 関東学院大学
 - 駒澤オリンピック公園運動場補助競技場
 - 東急田園都市線 駒沢大学駅より徒歩15分
 - 関東大学サッカー連盟 <http://www.jufa-kanto.jp/>
 - サッカー部ウェブサイト <http://www.aogaku-soccer.net/>

- 自動車部** 全日本学生自動車運転競技選手権大会
- 射撃部** 関東学生ライフル新人大会
- 柔道部** 全日本学生柔道体重別団体優勝大会
- 少林拳法部** 少林拳法全日本学生大会
- ソフトテニス部** 東都大学シングルス選手権
- チアリーディング部** 北日本チアリーディングフェスティバル
- 軟式野球部** 東都大学軟式野球連盟新人戦
- バスケットボール部(男子)** 全日本大学バスケットボール選手権
- 11月19日(月)～11月25日(日)
 - 個々の試合日程はウェブサイトをご覧ください
 - [会場・交通アクセス]
 - 国立代々木競技場第二体育館
 - JR原宿駅より徒歩5分、東京メトロ明治神宮前駅より徒歩5分
 - 墨田区総合体育館
 - JR錦糸町駅より徒歩3分
 - 川崎とどろきアリーナ
 - 武蔵小杉駅(JR・東急東横線・目黒線)北口よりバスで7分
 - 全日本大学バスケットボール連盟 <http://www.jubf.jp/>
 - バスケットボール部(男子)ウェブサイト <http://homepage3.nifty.com/agu/>
- 馬術部** 全日本学生馬術大会
- バドミントン部** 関東学生バドミントン新人選手権
- パワーリフティング部** 関東学生パワーリフティング選手権大会
- ヨット部** 全日本学生ヨット選手権大会

男子

バスケットボール部

関東大学選手権大会で3連覇を達成したチームは、関東大学リーグ戦でも着実に勝利を重ねています。国際大会に代表として召集されていた主力選手がチームに合流した今、関東大学リーグ戦、全日本大学選手権の3連覇に向けて、必勝態勢が整いました。僕たちのモットーは、一つひとつのプレーに妥協を許さないこと。日々の練習で磨きあげられた選手たちの美技にご注目ください。ご声援をよろしくお願いします。



ラグビー部

15人全員が運動して手薄なスペースに素早くボールを運び、体格に勝るライバルにも果敢に立ち向かうのが青学ラグビーのスタイルです。対抗戦Aグループは強豪ぞろいですが、全日本大学選手権出場条件となるグループ4位以上を目指し、全員が心をひとつにして闘っています。プレーする喜びを自分たちで創り出す「クリエイティブ・ザ・プレジャー」の精神を貫き、観る人を楽しませるゲームをお見せします。

ラグビー部 関東大学対抗戦 Aグループ(12月まで)

- 11月4日(日) 14時～ vs 筑波大学
- 11月18日(日) 14時～ vs 立教大学
- 12月2日(日) 14時～ vs 慶應義塾大学
- [会場・交通アクセス]
- 埼玉県熊谷ラグビー場
- JR熊谷駅北口3番乗り場より国際バス「赤城神社下」下車、徒歩5分
- 関東ラグビーフットボール協会 <http://www.rugby.or.jp/>
- ラグビー部ウェブサイト <http://www.aogaku-rugby.com/>

レスリング部 全日本大学選手権

12月

- 航空部** 関東学生グライダー競技会
- 卓球部** 全日本学生選抜選手権大会
- チアリーディング部** 全日本学生チアリーディング選手権大会
- 馬術部** 全日本学生馬術選手権大会
- バドミントン部** 全日本学生バドミントン選手権大会
- バレーボール部(女子)** 全日本バレーボール大学選手権大会
- 12月3日(月)～12月9日(日)
 - ※対戦相手・会場は11月中旬以降に全日本大学バレーボール連盟ウェブサイトに掲載される予定です。
 - 全日本大学バレーボール連盟 <http://www.volleyball-u.com/>
 - [会場・交通アクセス]
 - 川崎市とどろきアリーナ
 - 武蔵小杉駅(JR・東急東横線・目黒線)北口よりバスで約7分
 - バレーボール部(女子)ウェブサイト <http://www.aogaku-volleyball.com/>
- 洋弓部** 関東学生アーチェリー連盟インドア個人選手権大会
- レスリング部** 天皇杯全日本選手権

女子

バレーボール部

夏の東西インカレでは好成績を残せたものの、優勝を逃してしまいました。その悔しさを「次は1セットも落とさない!」という強い気持ちに変えて、チームとしての精度を上げています。どの局面にどのプレイヤーが出てくても遜色ない、全員が活躍できるというのが私たちの強み。目指すは優勝のみ、粘り強さと「全員バレー」の変わらぬ姿勢で試合に臨みます。たくさんの方々の声援が何よりの力になるので、ぜひ応援に来てください。



陸上競技部

長距離ブロック

出雲駅伝、初優勝に際してはあたたかいご声援ありがとうございました。1月の箱根駅伝でも変わらぬご声援をお願いします。エースの出岐雄大が4年生となり、有望な新人が加入した今年度は、「箱根駅伝総合優勝」を目標に掲げ、例年以上に充実した練習を行っています。調整は順調で、全員が調子を上げてきています。当日は最高のレースを展開し皆さんに感動をお届けしますのでどうかご期待ください。



2013年 1月

陸上競技部(長距離ブロック) 東京箱根間往復大学駅伝競走

- (5年連続18回目)
- 往路: 2013年1月2日(水) 午前8時スタート予定
- 読売新聞旧東京本社前(東京都千代田区)から箱根町(神奈川県)まで5区間108km
- 復路: 2013年1月3日(木) 午前8時スタート予定
- 箱根町(神奈川県)から読売新聞旧東京本社前(東京都千代田区)まで5区間109.9km
- 陸上競技部(長距離ブロック)ウェブサイト <http://aogaku-tf.org/>

アイススケート部(ホッケー部門) 日本学生氷上競技選手権大会

アイススケート部(フィギュア部門) 日本学生氷上競技選手権大会

バスケットボール部(男子) 全日本総合バスケットボール選手権

- プロリーグ(JBL、JBL2)、社会人、高校生、地方ブロックから推薦された32団体が日本一を目指して闘います。
- 2013年1月1日(火)～1月14日(月)
- [会場・交通アクセス]
- 国立代々木競技場(予定)
- JR原宿駅より徒歩5分、東京メトロ明治神宮前駅より徒歩5分
- 日本バスケットボール協会 <http://www.japanbasketball.jp/>
- バスケットボール部(男子)ウェブサイト <http://homepage3.nifty.com/agu/>

ボランティア・ステーション活動報告

東日本大震災をきっかけに設置されたAGUボランティア・ステーション。2011年の夏に約400名もの青学生による被災地ボランティア活動をコーディネートし、その後もキャンパス内で行える被災地支援として、津波で汚れた写真の洗浄などに取り組んできました。そして2012年の夏、再び多くの青学生たちを被災地へ送り出しました。

震災から1年以上がたち、ボランティアへの関心が薄くなりつつあるといわれている中で、青学生として何ができるのか。企画から参加者募集、そして現地での調整・まとめ役に至るまで学生スタッフが中心に行ってきた4つのプロジェクトについて、それぞれのコーディネーターに報告してもらいました。

気仙沼仮設住宅支援プロジェクト

活動期間: 第1陣 8/17~8/21 第2陣 8/24~8/28 第3陣 9/7~9/11
参加人数: のべ24名

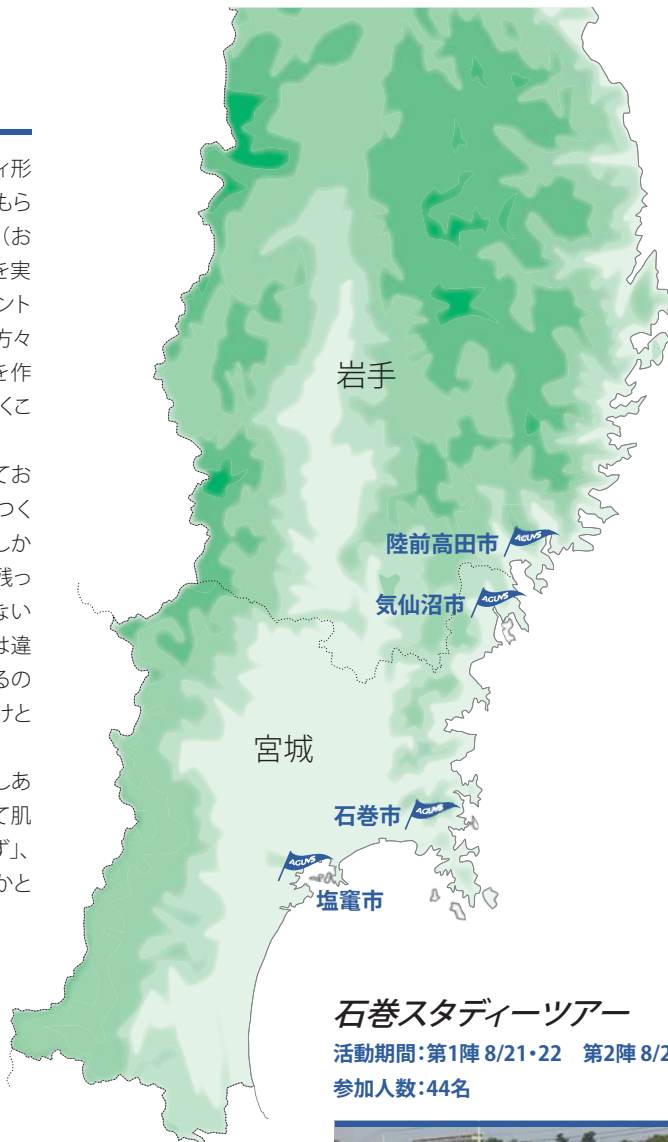


お年寄りが多い仮設住宅でコミュニティ形成の支援をするべく、住民の方に喜んでもらえるイベント(足湯マッサージ、お茶っこ(お茶会)、バーベキュー、流しそうめんなど)を実施するプロジェクトです。さまざまなイベントを実施することで仮設住宅に住んでいる方が気軽に集い、外へ出かけるきっかけを作り、地域コミュニティの雰囲気を変えていくことを目的としました。

仮設住宅に移って既に1年以上がたっており、住民の方々も独自のコミュニティをつくり、協力し合いながら生活されています。しかし震災の影響はいまだに心の中に強く残っており、復興に向けて前向きになりきれない

部分があるように思われました。同時に感じたのは、そのような厳しい状況でも普段とは違う活動をして楽しいと感じるひと時をもち、そこから少しずつ生きる希望をもっていけるのではないかとことです。私たちの活動がそのようなひと時を提供し、前へ進む手助けとなれたことを願います。

結果や成果の見出しやすいハード面のボランティアとは違い、現地の方々と密に接し合いながらの答えのないボランティアですが、現地の方々のさまざまな現状や問題を、目で見て感じることができました。参加者がそれぞれ、気仙沼で何かを感じ取り、それを「忘れず」、いろいろな人に「伝える」、これだけでも被災地のためのアクションになるのではないかと思います。これだけでは終わらせず、次の行動につなげるきっかけとしていきたいです。



陸前高田支援プロジェクト

活動期間: 第1陣 8/11~8/18 第2陣 8/18~8/25 第3陣 8/25~9/1 第4陣 9/1~9/8
参加人数: のべ48名

2011年11月から、キャンパス内で「被災地写真救済プロジェクト」を行ってきました。ガレキの中から発見された膨大な写真を一枚ずつ洗浄・整理して、被災地の方々に返却していくというものです。今回は活動場所を陸前高田市に移して、洗浄されアルバムに収め直されたものの整理と、写真の状態がこれ以上悪化することを防ぐためのスキャニング作業を中心に行うほか、現地のニーズに応え、仮設住宅で生活する小中学生への学習支援、知的障害者施設での福祉活動に取り組みました。

写真の返却は、もくもくと単調な作業をする活動ですが、一つひとつの作業が今後の返却に大きく影響してくるため、疎かにすることはできません。写真洗浄・返却の活動をもっとたくさんの人に知ってもらい、1日でも早く、1人でも多くの人の元に写真が戻って欲しいと思います。いつの日か、全ての写真が持ち主の手元に届くことを祈りながらの作業でした。

陸前高田の支援。思い返せば、東京にいてもできる東北支援を模索していたときに出会った写真洗浄活動がきっかけでした。この活動に参加した青学生は300人を超えています。今回は写真返却だけでなく、さまざまな活動に取り組み、多くの陸前高田の方々から『ありがとう』の言葉を数えきれないほど頂きました。この4週間の中で、私たち青山学院大学の学生が、陸前高田で活動を行うことで少しでも笑顔と元気を分け与えることができたのであれば、この陸前高田での活動も意義のあるものであったのではないかと思います。



塩竈プロジェクト

活動期間: 第1陣 8/4~8/11 第2陣 8/11~8/18 第3陣 8/18~8/25 第4陣 8/25~9/1 第5陣 9/1~9/8 第6陣 9/8~9/18
参加人数: のべ135名

今年の企画で最も大規模となったこのプロジェクトは、宮城県塩竈市の保育所、小中学生、特別支援学級の子どもたちへの教育・保育支援を行うほか、塩竈市の浦戸諸島4島・5地区で、がれき撤去、草刈りなどのボランティアを行いつつ、島の資源を調査し、経済復興へのアイデアを考えるというものです。8月から9月にかけての約6週間、週ごとに陣を組んでメンバーが入れ替わりながらこのプロジェクトを進めてきました。

この地域について何も知らない大学生が、島民の方との交流やインタビュー、史跡調査を通じて諸島地域の現状をとらえ、今直面している問題を洗い出し、そこから若者の視点を生かして復興のための提言をするという経済復興プロジェクト。1週間という限られた時間で意見をまとめあげ、かつ実現可能なアイデアを提案するのは容易なことではありません。しかしメンバー同士でお互いに刺激を与え、また受けながら本当に一人ひとりが意識を高くもち続け、情熱をもって真摯に、そして真剣に真正面からこのテーマに向かっていき、ひとつの提言をまとめあげたというのは、最初の期待を大きく上回る結果となったと確信しています。9/13に市役所で行った活動報告会では、塩竈市長をはじめ、市議会議員、市役所職員の方々が私たちの提言を聞いてくださり、とても前向きに受け取っていただきました。今回の活動をきっかけに塩竈市内においての活動を継続させていきたいと考えております。

石巻スタディーツアー

活動期間: 第1陣 8/21・22 第2陣 8/29・30
参加人数: 44名



継続的に被災地を支援していく下地を作るために、被災地の現状を知り、もう一度震災と防災について考える機会をもつスタディーツアーを企画しました。1泊2日の日程ではありますが、現地の様子を自分の目で見て、多くの方と話しをもらい、震災について考える機会を作りたいと考え、スタートした企画です。水産加工会社の方から漁港で水産業の復活についての話を伺ったり、仮設店舗が並ぶ商店街を地元の方からガイドして頂きながら、自分たちの故郷を復興したいという熱い思いを感じることができました。また偶然にも、早朝4時に震度5の地震が発生するというハプニングもありました。揺れにびっくりして起きあがった参加者もあり、被災地に来たのだということを身をもって感じました。

ツアーの最後には「これから」と題して全員でディスカッションを行いました。石巻のこれからや、私たち自身のこれからについて浮かびあがった問題点に対し、「大学生にできる事は何か」をグループごとに考えを深めていきました。「自分でもできることはある!」と感じた人もいれば、「大学生の力って微々たるものだね」という意見もあり、わずか2日間とはいえ、このツアーに参加することで皆さんの意識にはさまざまな変化があったようです。今回のツアーが参加者と石巻市をつなぐ架け橋になることを願っています。

石巻市にボランティア・ステーションの活動を記念するプレートが設置されました!

昨年の石巻市ことぶき町商店街での道路復興ボランティアの活動を讃えて、商店街の方々が記念プレートを設置してくださいました。ことぶき町商店街は石巻市の中心部に位置する商店街ですが、道路に敷き詰められたカラーブロックが津波の泥をかぶって使い物にならなくなってしまいました。そこで青学生約165名が1ヶ月間にわたって5万個以上のブロックを一つひとつ洗浄し、再びきれいにはめ込んでいくという道路復興ボランティアを実施。商店街2か所に設置されたこのプレートには、ボランティアに携わった全員の名前が記載されています。



AGUMS AGU VOLUNTEER STATION 青山学院大学 ボランティアステーション ボランティアステーション ブログ <http://ameblo.jp/agu-vsta/>

この夏の活動の記録が詳細につづられています。今後の活動も随時掲載していきますので、ぜひご覧ください。

青山キャンパス整備事業 進行状況



大学17号館 高層階の利用を開始

大学17号館は5月に竣工後、1階から7階までを先行して利用を開始しておりましたが、夏期休業期間中に高層階部分(8階～12階)の整備が完了し、既存校舎からの移転を実施しました。これらのフロアは専門職大学院(国際マネジメント研究科、法務研究科)の専用施設となり、さらに充実した教育・学習環境を提供していきます。既存校舎・用地は今後、次期青山キャンパス再開発事業に伴う施設再配置・建設エリアとして活用される予定です。



大学1号館・2号館の耐震補強・外壁改修工事を実施

大学1号館・2号館はともに1923年の関東大震災で壊滅的な被害を受けた後に建設された校舎です。鉄筋コンクリート造の堅牢な復興建築であり、銀杏並木と併せて青山キャンパスの景観を形作っています。しかしながら建設後80年以上を経ているため、外壁の改修を行うとともに、現代の建築基準に対応するための耐震補強工事を実施しました(2号館については2011年に耐震補強工事を実施済み)。また、1号館1階には17号館につながる出入口を新設し、17号館1階・7号館地下の学生食堂と購買会、学生ラウンジが行き来しやすいようになりました。



購買会店舗を1号館に移転

2008年より青山キャンパス内の購買会は仮設のプレハブ店舗および2号館内・地下学生食堂の食品コーナーの3カ所に分かれて運営してきましたが、8月13日より1号館1階に新装開店しました。従来より食品・書籍売り場を拡張したほか、旅行や自動車教習所の受付カウンターも併設し、学生生活をサポートする体制を整えていきます。



学生食堂にサブウェイ店舗を出店

14号館地下の学生食堂にサンドイッチ専門店の「サブウェイ」が10月5日にオープンしました。店内で焼きあげるパンと新鮮な野菜をふんだんに使用したサンドイッチをオーダーメイドで提供します。



画像提供:日本サブウェイ株式会社

学生ラウンジ(屋内・屋外)を増設

学生の皆さんがキャンパス内で過ごしやすい環境を整えるため、屋内外に自由に憩えるラウンジを増設しました。また、今後も7号館1階の改修(10月中に完了予定)や8号館の図書館学習室設置など、キャンパス内の環境を順次整えてまいります。



これから開催 本多庸一第2代院長召天100周年記念 ガウチャー記念礼拝堂パイプオルガン奉献10周年記念 ヨハネス・ゲッフアート オルガンコンサート

ヨーロッパ最大級の音楽大学であるドイツ・ケルン国立音楽大学のプロテストアント教会音楽学科長 ヨハネス・ゲッフアート教授をお迎えして、本多庸一第2代院長召天100周年とガウチャー記念礼拝堂パイプオルガン奉献10周年を記念して、オルガンコンサートを開催します。ヨーロッパを中心に世界各地の音楽祭でゲストとして活躍されているオルガニストでもあるゲッフアート教授の演奏を、日本で十分に楽しめる大変貴重な機会です。事前の予約などは必要ありませんので、多くの皆さまのご来場をお待ちしています。

日時:2012年11月17日(土) 15:00開演(開場14:30) 入場無料(全席自由)
会場:青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂

予定プログラム	C.ウェスレー	コンチェルト ト短調
	J.S.バッハ	前奏曲とフーガ 変ホ長調 BWV552
	W.A.モーツァルト	ファンタジー ヘ短調 KV608
	C.サンサーンス	ファンタジーII 変ニ長調 Op.101 ほか



これから開催 クリスマス・ツリー点火祭 ～降誕を待ち望む礼拝～

今年のクリスマス・ツリー点火祭(礼拝)は11月30日に開催します。イエス・キリストの降誕を待ち望む気持ちを、一堂に集まって心に刻む礼拝行事です。幻想的なツリーのあかりと美しい音楽の中で、共にアドヴェントの喜びを分かち合います。

日時:2012年11月30日(金)
17:20～18:00(青山キャンパス)
16:30～17:10(相模原キャンパス)



文部科学省の教育改革支援事業に選定

文部科学省では大学の教育改革を推進するために、全国の大学から取組を公募し、特色ある優れたものを選定・支援しています。この度、1大学では対応できない課題に対して複数大学が連携して解決にあたる「大学間連携共同推進事業」、および、地域の大学がグループを作り産業界と一体となって取り組む「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に、本学を中心とした取組が採択されました。各取組の詳細は今後お伝えしてまいります。

大学間連携共同推進事業

「データに基づく課題解決型人材育成に資する統計教育質保証」

(取組担当者:美添泰人 経済学部教授)

今後の我が国のイノベーションを推進するには、新たな課題を自ら発見し、データに基づく数量的な思考による課題解決の能力を有する人材が不可欠です。課題発見と解決のためのひとつの重要なスキルである「統計的なものの見方と統計分析の能力」は、文系理系を問わず必要とされることから、諸外国では多くの大学に統計学科が設置され、組織的な統計教育のもとに課題解決能力を有する人材を育成しています。

我が国でも大学における体系的な統計教育の一層の充実が国際競争力の観点からも喫緊の課題です。本取組では連携大学による「統計教育大学間連携ネットワーク」を新たに組織して、課題解決型人材育成のための標準的なカリキュラムコンテンツと教授法を整備し、さ

らに統計関連学会および業界団体等の外部団体を加えた評価委員会による教育効果評価体制を構築することによって、統計教育の質保証制度を確立していきます。

連携大学	東京大学、大阪大学、総合研究大学院大学、 青山学院大学(代表校)、多摩大学、立教大学、 早稲田大学、同志社大学
------	---

産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業

「首都圏に立地する大学における産業界のニーズに対応した教育改善」

(取組担当者:長谷川信 副学長・青山スタンダード教育機構 機構長)

〈取組テーマ〉

1. 産業界のニーズの把握
2. 社会的・職業的自立力の測定手法の開発
3. 産業界のニーズに対応したカリキュラムの開発・体系化
4. 産業界との連携による人材育成プログラムの開発
5. 産業界のニーズに対応した技術者の育成

連携大学	お茶の水女子大学、青山学院大学(幹事校)、大妻女子大学、 工学院大学、駒澤大学、芝浦工業大学、昭和女子大学、 女子美術大学、専修大学、拓殖大学、東京家政大学、 東京電機大学、東京都市大学、東京未来大学、明治学院大学、 目白大学、東京家政大学短期大学部、法政大学
------	--



Aogaku Lecture 7

音楽史B

—クラシック音楽の歴史Ⅱ(古典派・ロマン派・20世紀の音楽)—

広瀬 大介

文学部 准教授

今年度より、文学部に新設された比較芸術学科で、音楽関連の授業を受けもっております。同学科にて、来年度以降から音楽関連の科目が徐々に出揃う予定ですが、これまでどおり、青山スタンダードの枠でも、音楽理論や世界各地の音楽を学ぶ「音楽」、そしていわゆるクラシック音楽、西洋音楽やロック・ジャズを歴史的な視点から学ぶ「音楽史」の授業は開講されます。このうち音楽学の基礎となる理論や西洋音楽史については、比較芸術学科の教員である那須輝彦先生と私で、時代を分けて担当します。

音楽大学、あるいは一般大学で音楽学を専攻する学生には、大抵その基礎科目として「西洋音楽史」という授業を取ることが義務づけられています。とはいっても、本学の場合、音楽を専門に学ぶ人の割合は少ないでしょう。そんな学生の皆さんが、この授業を受ける意味はどこにあるのでしょうか。

実は、学問としての音楽を直接必要としないような学生の皆さんにこそ、この授業を通じて、「歴史」を学ぶということの本質について、正面から向き合って考えてほしいと思っています。世の中に、唯一無二の客観的な、事実を紡いだだけの歴史などというもの

存在しません。地球上で起きた出来事すべてを客観的に知り得る人間など存在しない以上、その個々の出来事を網羅的に叙述することなど、はじめから不可能なのです。であれば、ひとつの歴史を編む際には、必ずそこに編者の取捨選択が生じます。長い時間をかけ、その地域で生まれ育った文化がどのようにして変容してきたか、あるいは変わらずに残っている部分はどこなのか。歴史とは、それを選び出す編者の感性と研究の成果がさまざまに盛り込まれた「物語」でもあるといえるのです。

西洋音楽史に限らず、大学で「歴史」なるものを教える教員は、曲がりなりにもそんな「物語」を、学生たちのために何とかひねり出そうと、日々知恵を絞っています。学生の皆さんの認識とは逆かもしれませんが、教員にとっては、自身の得意とする高度な専門領域を事細かに教えるよりも、「西洋音楽史」のような基礎的な授業を手がけるほうが、よほどプレッシャーなのです。

古代ギリシャの(ほとんど実態のわかっていない)音楽に始まり、中世、ルネサンス、バロックを経て、誰もが知る古典派、ロマン派、そして20世紀から現代音楽へとという音楽の

すべてに精通している生き字引のような教師などほとんど存在しません。網羅的に各時代の音楽を知り、特徴を知り、重要性を知り、それを人に伝えるまでに成熟させるには、かなりの手間暇、歳月、そして人生経験を必要とするものなのです。私自身はまだ未熟ですが、少なくとも私が西洋の音楽を語る上で必須と思われる人・作品について、必死に「物語」を紡ごうと思っています。

そして、他の芸術史や哲学・思想史と異なり、音楽史を勉強するにあたって、もっともやっかいなのは、教科書をひもとき、その記述を読むだけでは、勉強が完結しない点にあります。何らかの形で、曲の数々を聴いてみないことには、その実態は全くといっていいほど藪の中のまま。この授業でも、もちろん音源を聴いて頂きますが、今年から学内で契約を開始した「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」を活用して、実際の音楽を授業外で聴いてもらうことも課題のひとつに含めました。学生の皆さんには、インターネットの世界に溢れかえる情報の中から、自らの「歴史」という物語を紡げるような知性をもった人間となるべく、成長を重ねてほしいと思っています。



Information

Academics

2012年度 給付奨学金・学業奨励賞

青山学院大学給付奨学金は、各学部・各学科に所属する2年生以上の学生で、前年度において卓越した学業成績をあげ、かつ人物において優れている者を対象に、有為な人材の育成に資することを目的に学資金が給付されます。また学業奨励賞も同様の資質を持つ学生を対象に、学業奨励に資することを

目的に贈られます。2012年度は7月11日(水)、青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂にて授与式が行われました。

〈給付奨学金・学部〉

文学部/阿部 なつ美
文学部/増本 里紗
文学部/中村 友美
文学部/中本 陽子
文学部/牧野 礼奈
文学部第二部/菊池 信義
文学部第二部/原 朱美
教育人間科学部/北村 一乃
教育人間科学部/梅原 さよこ
教育人間科学部/柴岡 由紀
教育人間科学部/川上 義剛
経済学部/李 修賢
経済学部/佐々木 柚花
経済学部/西原 孝紀
経済学部/稲垣 乃恵
法学部/黒川 結
法学部/黒田 小百合
法学部/澁谷 有里
経営学部/中山 むつみ
経営学部/富永 光太郎
経営学部/知見 亮
国際政治経済学部/生須 美輝
国際政治経済学部/小出 研斗
国際政治経済学部/末永 千夏
総合文化政策学部/小嶋 万美子
総合文化政策学部/栗本 祥子
総合文化政策学部/金 善榮
理工学部/西山 広徒
理工学部/名取 智基
理工学部/坂東 静
理工学部/竹木 佑美映
理工学部/沖原 大樹
理工学部/服部 真智
社会情報学部/三浦 永理香
社会情報学部/藤井 絢子
社会情報学部/古川 克彦

経営学研究科/中村 弘祐
国際政治経済学研究科/山崎 周
国際政治経済学研究科/王 璐
国際政治経済学研究科/工藤 嵩比古
国際政治経済学研究科/謝 卓穎
総合文化政策学研究科/穴倉 洋介
総合文化政策学研究科/諸岡 優鷹
理工学研究科/嵐 博隆
理工学研究科/海老原 由希子
理工学研究科/井上 浜吾
理工学研究科/松永 友貴
理工学研究科/高田 隆太郎
理工学研究科/遠藤 亮雄
理工学研究科/井出 貴也
理工学研究科/小野寺 雄大
社会情報学研究科/根津 智比古
社会情報学研究科/佐藤 幸子
社会情報学研究科/上野 亮
国際マネジメント研究科/寺町 杏奈
国際マネジメント研究科/中田 勝浩
国際マネジメント研究科/伊藤 大輔
国際マネジメント研究科/昇塚 淑子
国際マネジメント研究科/杉浦 竜太
国際マネジメント研究科/松永 剛

〈学業奨励賞〉

文学部/鈴木 美沙
文学部/高橋 かやの
文学部/風呂 朋美
文学部/小泉 清華
文学部/石川 朋美
文学部/衣斐 宏亮
文学部/葛見 久賢
文学部/三輪 一貴
文学部/蓮池 愛
文学部/堀 絵梨菜
文学部/村杉 有香
文学部/小平 暁未花
文学部/市川 美穂
文学部/津久井 愛河
文学部/泥 雪恵
文学部/榎田 真奈
文学部/富田 理紗
文学部/藤嶋 ゆかり
文学部/上杉 杏子
文学部/加藤 哲史
文学部/鈴木 友香
文学部/奥平 美紗子
文学部/藤山 恵実
文学部第二部/長崎 路子
文学部第二部/江原 有紀子
教育人間科学部/坂口 理奈
教育人間科学部/田中 かさね
教育人間科学部/伊藤 藍
教育人間科学部/中島 和
教育人間科学部/小溝 和代
教育人間科学部/西山 芽久美

教育人間科学部/高橋 椋一
教育人間科学部/増田 千晃
教育人間科学部/酒田 楓子
教育人間科学部/澁谷 恵美
経済学部/宇佐美 百合子
経済学部/平沢 友希
経済学部/山内 佳悟
経済学部/山口 聡美
経済学部/谷口 美央
経済学部/深谷 文彦
経済学部/村山 綾香
経済学部/横川 豊
経済学部/今村 脩太
経済学部/小宮 杏奈
経済学部/白石 理恵
経済学部/小野 悠二郎
経済学部/埴 達晴
経済学部/姜 聲恩
経済学部/阪上 竜司
法学部/金原 光俊
法学部/小松 亜由美
法学部/野澤 峻
法学部/本間 健慈
法学部/峰村 南保
法学部/嘉山 沙記
法学部/木村 燦
法学部/大伍 将史
法学部/中山 愛香
法学部/西山 晴基
法学部/西脇 芳織
法学部/野本 峻平
法学部/遠藤 翔太
法学部/河合 彩夏
法学部/菊地 里奈
法学部/中島 健
法学部/長橋 佑太郎
経営学部/李 恩徳
経営学部/川西 麻美
経営学部/廣川 和生
経営学部/岩立 紗智子
経営学部/鬼頭 里奈
経営学部/栗野 晃
経営学部/加藤 菜摘
経営学部/富田 理紗
経営学部/藤間 結
経営学部/河村 香里
経営学部/山崎 千夏
経営学部/箱石 奈々

経営学部/丸山 里紗
経営学部/大野 杏奈
経営学部/寺田 美穂
国際政治経済学部/杉山 晶子
国際政治経済学部/杉江 勇馬
国際政治経済学部/中村 早希
国際政治経済学部/原川 拓士
国際政治経済学部/高梨 祐生
国際政治経済学部/田中 沙奈
国際政治経済学部/越沼 舞
国際政治経済学部/村山 綾香
国際政治経済学部/ウィルジーリオ 麗奈
国際政治経済学部/DOAN TRANG HONG
総合文化政策学部/遠藤 祐里奈
総合文化政策学部/勝又 君恵
総合文化政策学部/澤部 佳奈
総合文化政策学部/長谷部 美冠
総合文化政策学部/森岡 渉
総合文化政策学部/山口 円花
総合文化政策学部/館野 帆乃花
総合文化政策学部/永井 里沙
総合文化政策学部/室伏 美侑
総合文化政策学部/山梨 萌樹
理工学部/阿部 愛
理工学部/田中 結
理工学部/須藤 邦斗
理工学部/上田 茜
理工学部/早勢 礼
理工学部/松井 理司
理工学部/芳賀 建太
理工学部/村野 晃大
理工学部/吉田 颯
理工学部/河合 彩夏
理工学部/長嶺 諒
理工学部/田下 俊樹
理工学部/八木 祐太
理工学部/小林 徹也
理工学部/市川 雄一朗
理工学部/小林 真理
理工学部/武内 朗人
理工学部/綱川 照悟
社会情報学部/須田 泰大
社会情報学部/山田 脩人
社会情報学部/高橋 陽子
社会情報学部/鳥海 瑛子
社会情報学部/大田 孝輔
社会情報学部/岡田 大輔
社会情報学部/福泉 弘樹

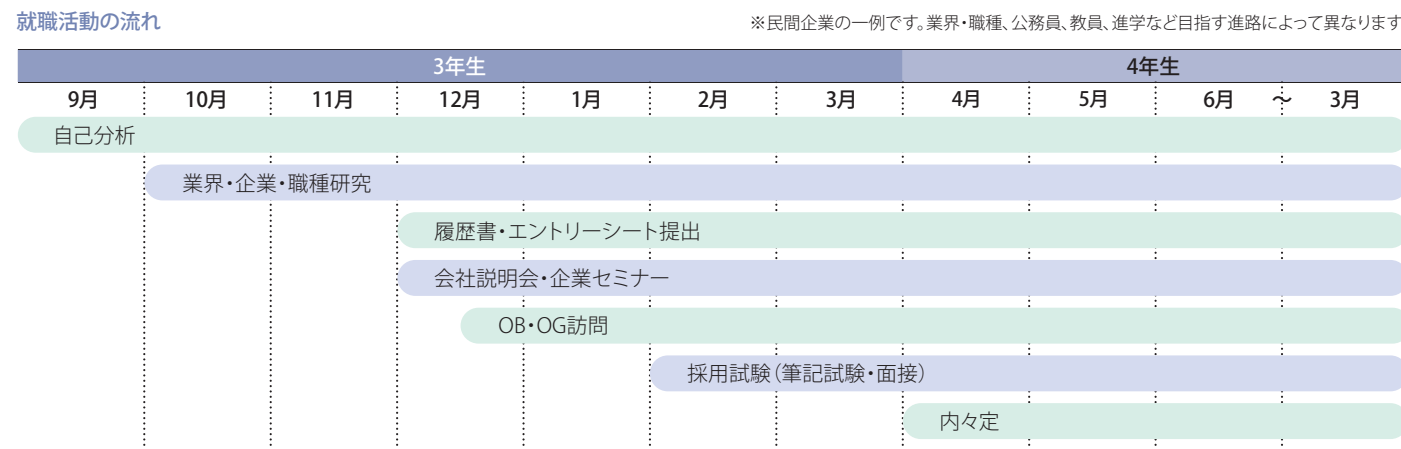


進路・就職センター／進路グループの利用案内

大学卒業後の進路は、就職(企業・公務員・教員)、大学院進学、各種資格試験準備と多様化しています。青山キャンパスの進路・就職センターならびに相模原キャンパスの進路グループでは、学生の皆さんの多様な進路に対応し、卒業後までを見通した柔軟で的確なキャリア・サポートを目指してい

ます。年間を通して、①きめ細やかな個別相談、②200以上の進路・就職支援行事、③各種資料・情報の提供を実施し、一人ひとりが「納得のできる進路選択」をできるように、スタッフ全員で支援していきます。

※民間企業の一例です。業界・職種、公務員、教員、進学など目指す進路によって異なります。



支援体制

個別相談

青山キャンパスでは職員11名、相談員3名が、相模原キャンパスでは職員4名、相談員1名が、常時個別相談にあたっています。ともに考えて話し合うことで、一人ひとりが納得のいく進路・就職ができるように支援を行っています。

相談内容は多岐にわたり、自己PRやエントリーシートの確認、業界研究の方法といった就職に関するもののほか、進学や留学等、それぞれの進路に応じたきめ細かい対応を心がけています。就職活動に関する悩みを一人で抱え込まずに、気軽に相談に来てください。

青山キャンパス	
月・水・金	9:30~11:30 12:30~19:00
火・木	9:30~11:30 12:30~17:00 (資料室 18:00まで)
土	9:30~12:00(資料室 13:00まで)
相模原キャンパス	
月~金	9:00~11:30 12:30~15:05 16:05~17:00
土	9:00~11:30

※青山キャンパス個別相談 午後の部は予約制です。

※上記の他にもさまざまな行事を開催しています。日程・場所などの詳細は学生ポータル、Web Ash、掲示板で確認してください。

進路・就職情報の提供

進路就職支援システム「Web Ash」
「求人情報」、「会社説明会情報」、「内定実績」、「OB・OG(就職アドバイザー登録者)情報」「入社試験報告書」など本学独自の情報を掲載しています。また、行事欠席者のために動画配信もしています。

主な進路・就職支援行事(11, 12, 1月)

青山キャンパス	
11月	●公務員 業務説明会
	●OB・OGによる仕事・業界セミナー
	●SPI対策-集中講座
	●内定者による報告会
	●就活前・働く前に知っておこう
12月	●仕事研究セミナー「知られざるNo1企業」
	●模擬面接/グループディスカッション
	●エントリーシート対策講座
	●学内企業説明会
1月	●OB・OGによる業界研究会
	●SPI対策-模擬試験
	●公務員試験合格者報告会

相模原キャンパス

11月	●業界・企業研究会
	●職種研究セミナー
	●エントリーシート対策講座
	●内定者による相談会
	●優良企業発見セミナー
12月	●グループディスカッション対策講座
	●社会人による仕事理解セミナー
	●留学と就職セミナー
	●合同企業セミナー
1月	●5大学合同模擬グループディスカッション・面接
	●Webテストセンター 模擬試験
	●キャリア支援セミナー

保護者向け就職ガイダンスの映像配信

6月5日に、青山キャンパスにて実施した「保護者向け就職ガイダンス」の映像を本学ウェブサイトにて配信しています。
<http://www.aoyama.ac.jp/>へアクセスいただき、ページ下部の「保護者の方」向けメニューよりご覧ください。

青山学院大学後援会報告

青山学院大学後援会は、本学の教育・研究に必要な事業を援助するために設立された支援団体です。在学生の保証人とその他有志が会員となり、会員から拠出される会費(在学生保証人分は学費に含まれています)をもって、課外活動や奨学金、傷害保険への全学生加入といった学生支援およびペアレンツウィークエンドの開催など、多岐にわたる活動を行っています。毎年度の事業内容は年1回開催の評議員会(総会)で審議・決定されます。この度、2011年度決算と2012年度予算がまとまりましたので、ここにご報告いたします。

2011年度は、体育会強化指定部(硬式野球部、ラグビー部、男子バスケットボール部、女子バレーボール部)、アイススケート部、航空部、陸上競技部、競技ダンス部、卓球部、ロイヤル・サウンズ・ジャズ・オーケストラの活動費用を一部補助したほか、各団体の指導者(監督、コーチ、指揮者など)への謝礼を拠出しました。2012年度もこれらの学友会活動を引き続き援助するほか、新たに就職活動補助、ボランティア活動補助の項目を設け、より充実した支援ができるように取り組んでまいります。

第一部:6,000円
〈参考〉後援会費 第二部:4,000円
大学院:3,000円

2011年度 決算

収入の部		(単位円)
科目	金額	
前期繰越金	10,883,129	
会費収入	109,324,000	
貸付金回収収入	2,000,000	
合計	122,207,129	

支出の部		(単位円)
科目	金額	
学生活動関係		
学友会活動補助	29,611,557	
学友会活動指導補助	12,970,000	
保険料	19,725,900	
奨学金事業補助	14,500,000	
大学行事補助	3,523,810	
アドバイザー・グループ会費補助	710,000	
ゼミナール活動等補助	500,000	
教育環境整備補助	7,000,000	
奨励金	1,546,650	
後援会行事関係		
ペアレンツ・ウィークエンド費	17,730,670	
旅費交通費	90,000	
会議費	1,155,998	
消耗品費	0	
通信費	24,000	
その他		
慶弔費	260,000	
支出計	109,348,585	
次期繰越金	12,858,544	
合計	122,207,129	

2012年度 予算

収入の部		(単位円)
科目	金額	
前期繰越金	12,858,544	
会費収入	108,490,000	
貸付金回収収入	2,000,000	
合計	123,348,544	

支出の部		(単位円)
科目	金額	
学生活動関係		
学友会活動補助	32,000,000	
学友会活動指導補助	14,000,000	
保険料	19,660,000	
奨学金事業補助	14,500,000	
大学行事補助	3,500,000	
アドバイザー・グループ会費補助	700,000	
ゼミナール活動等補助	1,000,000	
教育環境整備補助	7,000,000	
奨励金	1,000,000	
就職活動補助	3,000,000	
ボランティア活動補助	1,500,000	
後援会行事関係		
ペアレンツ・ウィークエンド費	18,500,000	
旅費交通費	100,000	
会議費	1,200,000	
消耗品費	50,000	
通信費	100,000	
その他		
慶弔費	500,000	
【予備費】	5,038,544	
合計	123,348,544	

世界を読み解くコラム AGUインサイト

2012年5月のウェブサイトリニューアルに伴って、本学専任教員によるコラムがスタートしました。私たちが生きている世界には、身近なことから人類全体にかかわる大きなことまで、さまざまな問題が溢れています。それらの実態はどうなっているのか、本質はどこにあるのか。意外に知られていない現状や真相を、本学が誇る教授たちが興味深い視点から解き明かします。広い視野でものごとを見据え、学問の楽しさと呼び覚まし、真理を見抜く洞察力(インサイト)を育てるコラム、AGUインサイト。本学ウェブサイト(<http://www.aoyama.ac.jp/>)よりご覧いただけます。

- Vol.01 健康のための課税は、どれだけ効果があるのか
国際政治経済学部 内田 達也教授
- Vol.02 平家物語で読む平清盛像と源平一門
文学部 佐伯 真一教授

- Vol.03 地元のまちを活気あふれるまちへ
経営学部 三村 優美子教授
- Vol.04 観光の経済効果を景気回復につなげよう
社会情報学部 長橋 透教授
- Vol.05 日本映画がより発展するために
総合文化政策学部 内山 隆教授
- Vol.06 大統領選挙から今後のアメリカを考える(2012.7.10掲載)
国際政治経済学部 中山 俊宏教授
- Vol.07 『音の世界』と『心理』とのつながり
教育人間科学部 重野 純教授
- Vol.08 保険から見る原発問題
経済学部 本間 照光教授

Admission

オープンキャンパス・進学関連イベント開催報告

2012年度のオープンキャンパスは、事前申込制で合計5日程開催しました。いずれの日程も猛暑の中、多くの受験生に会場いただき、総来場者数は32,729名(青山キャンパス合計30,483名 相模原キャンパス2,246名)でした。模擬講義やキャンパスツアーのほか、多くの在學生にボランティアとして協力いただき、受験生と在學生とが直接ふれあうことの出来る機会を多く設けました。

また本年度は初めての試みとして、理系分野に興味のある女子受験生と保護者を対象とした「Rikejo♥青学」を相模原キャンパスで、大学・学部紹介イベントとして「青学フェア」を千葉商工会議所ホールとTOIRO(さいたまスーパーアリーナ内)で実施しました。いずれのイベントも来場者から、「じっくりと学生・教職員と接することができた」と好評を得ました。



オープンキャンパス
(7/15・16、8/24・25 青山キャンパス)
(7/22 相模原キャンパス)



Rikejo♥青学(6/9 相模原キャンパス)



青学フェア(6/2 千葉会場)(6/23・24 埼玉会場)

For Parents

「青山学院 エバーグリーン募金」のお願い

「青山学院 エバーグリーン募金」のもとに、目的別の募金活動を行っております。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

本多記念国際会議場建築募金(12月末締切)

青山学院初の日本人院長である本多庸一先生を記念し、大学17号館6階に設けられた「本多記念国際会議場」の建築資金に充当する募金です。

青山学院維持協力会募金

青山学院の財政基盤の確立を側面から支援していただく経常型の募金です。

青山学院奨学金募金

勉学・課外活動に燃える青山学院生を経済的側面からご支援いただくことにより、学生生活の充実を図ることを目的とした募金です。

ご協力いただける場合は募金事務局へご連絡ください。資料をお送りいたします。

募金事務局(間島記念館1階) TEL.03-3409-6208 FAX.03-3409-3890

Club & Circle 14 美術部

「つくりたいものを、つくりたい時に」。自由な制作活動が特徴です

2ヵ月に1度のペースで美術部単独展や他大学との合同展を開催しています。会場は主に「デザイン フェスタ ギャラリー原宿」。知り合いや宣伝を見てくれた人以外にも、原宿に来るさまざまな人が作品を見てくれるので、毎回力が入ります。

活動のなかで最大のイベントは、青山祭で行う「Room's展」。作品展示だけではなく、会場となる教室の装飾など、ゼロからひとつの空間をつくりあげます。部員全員がひとつの目標に向かって作業することで、新入生や先輩・後輩の距離がグッと縮まります。

美術部では「つくりたいものを、つくりたい時に」をモットーとし、作品制作を強制することはありません。また、絵画作品だけではなく、写真、立体作品、映像、服飾など、ジャンルに縛られないことも大きな特徴です。部員のさまざまな作品に触れることで視野が広がり、これまでとは違ったジャンルに挑戦することで、新しい発見や自分の表現活動の幅を広げることができます。

「美術・芸術に制限はない!」「技術より気持ち!」で活動していますので、少しでも興味がある方は気軽に遊びに来てください。

(部長:経営学部経営学科3年 平川 雄一)



AGUニュースについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGUニュース」を年5回(1月、3月、5月、7月、10月)発行し、在學生の保証人の方々へ送付しています。また、在學生を対象としてキャンパス内AGUニュース専用スタンドにて配布しています。

本誌掲載の記事、写真、図版などの無断転載・複製を禁じます©2012青山学院大学

- AGUニュースのバックナンバーは、本学ウェブサイトでご覧いただけます。
 - AGUニュースを確実に保証人の方々へお届けするため、住所が変更になった場合は、住所変更の手続きをお取りください。
- 事務取扱窓口 青山キャンパス→学生部厚生課
相模原キャンパス→スチューデントセンター・学生生活グループ



発行元: 青山学院 本部広報部
TEL.03-3409-6578

●2012年10月22日発行●